

「日本橋川今昔(4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

日本橋川の歴史を知るには、過去の写真、特に航空写真が非常に役立つ。下の写真は1957年(昭和31年)の東京下町(東京低地部)の航空写真である。(国土地理院提供)戦後間もない頃は、航空写真はすべて米軍の撮影で画質も悪かった。しかし、昭和30年代になると、国土地理院自ら航空測量をしていたので、モノクロながら、非常に鮮明な航空写真を得られるようになった。地名は私が記入したものであるが、細か

い地形や道、鉄道まで判別できるので、現在の地形・地勢と比較できて大変楽しい。

この写真を見ると、昭和31年には日本橋川の水面からは、まだ完全に空が見えていたことがわかる。東京オリンピックまでまだ遠く、首都高速の工事がまだ始まっていなかったからである。東京オリンピックの開催が決まったのは昭和34年、最初の路線が開通したのは昭和37年である。その後首都高速は、突貫工事とも言える勢いで建設が進み、建物が全くない日本橋川は絶好の餌食となってしまった。写真には日本橋川分流の「楓川」も写っている。楓側は河床そのものが首都高速の敷地となり、現在は中央環状線として、永代通りの下をくぐっている。

